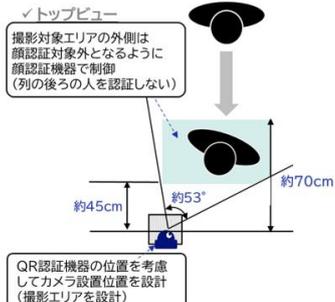


万博会場入場ゲートにおける顔認証システムによる顔画像の撮影について

公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会は、大阪・関西万博会場への入場時の顔認証システムを導入しております。

顔認証システムとは、入場ゲートに設置したカメラによって、来場者の顔画像を撮影し、来場者が事前に登録した顔情報と照合する仕組みです。取得した顔情報は、顔認証システムを通して通期パス・夏パスの利用者を含む来場者の本人確認を行い、不正入場を防止するために利用します。

なお、撮影された顔画像は、特微量データを抽出後、即座に破棄されます。また、抽出した特微量データも、来場者が事前に登録した顔情報との照合後、即座に破棄されます。顔情報を事前に登録していない来場者についても顔画像が撮影されますが、同様に、特微量データを抽出後、即座に破棄します。

実施概要	<ul style="list-style-type: none">大阪・関西万博会場の入場ゲートに設置したカメラによって、来場者の顔画像を撮影し、来場者が事前に登録した顔情報と照合します。取得した顔情報は、顔認証システムを通して通期パス・夏パスの利用者を含む来場者の本人確認を行い、不正入場を防止するために利用します。顔情報の事前登録は、公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会が提供する顔登録ウェブサービスを利用して、来場者自身で行うことができます。 詳しくは、こちらのウェブサイトをご覧ください。 https://ticket.expo2025.or.jp/
撮影範囲	<ul style="list-style-type: none">認証距離：約 1.5m幅：カメラ中心から右に約 0.8m (中心から右側のみ)仰角：20 度水平視野角：40 度 
データ取得期間	2025 年 4 月 13 日～2025 年 10 月 13 日
データ取得者	公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会
利用目的	取得した顔画像は、顔認証システムを利用して、通期パスや夏パスの利用者を含む来場者の本人確認を行うことで、不正入場を防止するために利用します。 また、入場時に撮影された顔画像は、来場者の顔認証のためにのみ利用され、第三者へ提供されることはありません。
安全管理措置の内容	カメラで撮影された顔画像は特微量データを抽出後、即座に破棄されます。また、これらのデータ処理において、不正アクセスや情報の漏えいなどを防止するため、暗号化やアクセス制限などの技術的な安全対策が講じられています。
データ主体の権利	取得した画像は、通期パス・夏パスの利用者を含む来場者の本人確認に利用することで不正入場を防止することを目的として、正当な利益のもとで利用されます。また、来場者は、適用される法令に基づき、アクセス権や消去権などの権利を行使できる場合があります。
本件に関するお問い合わせ	公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会 https://faq.expo2025.or.jp/hc/ja/p/contact

より良い会場運営の実現に向けたカメラを用いた 万博会場入場ゲートにおける入退場者数の取得及び混雑状況の把握

公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会は、大阪・関西万博会場の入場ゲートにカメラを設置し、ゲート通過者やゲート付近の映像を取得します。取得した映像からゲートを通る入退場者数のデータを抽出することで、時間帯別の会場内の滞留人数やゲート付近の混雑状況を把握し、より良い会場運営を実現します。

なお、取得した映像は入退場者数の計測目的に限定して利用を行い、計測結果には個人を識別可能なデータは含まれておりません。

実施概要	<p>■映像データの取得 大阪・関西万博会場の入場ゲート（東ゲート、西ゲート）に設置したカメラで、ゲート通過者の全身が映る映像やゲート付近の映像を撮影します。</p> <p>■入退場者数データの作成及び会場内の滞留人数の把握 撮影したゲート通過者の映像を画像処理技術により解析し、人物を検出して通過人数をカウントします。そのデータをもとに入退場者数データを作成・保存し、おおよその会場内の滞留者数を算出します。 （作成された入退場者数や滞留者数のデータには、個人を識別可能な情報は含まれていません。）</p> <p>■ゲート付近の混雑状況の把握 撮影したゲート付近の映像を画像処理技術により解析し、人物を検出してゲート付近のエリア内にいる人数をカウントします。さらに、滞留時間とあわせて混雑の有無を判定し、ゲート付近の混雑状況の把握に活用します。 （エリア内の人数データは、個人を識別可能な情報は含まれていません。）</p>
撮影範囲	万博会場 東西入場ゲート付近（東ゲート：12 台、西ゲート：14 台）
データ取得期間	2025 年 4 月 4 日～2025 年 10 月 13 日
データ取得者	公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会
利用目的	取得した映像をもとに入退場者数やゲート付近の人数を計測することで、会場内の滞留者数やゲート付近の混雑状況を把握することで、より良い会場運営のために利用します。撮影された映像は本目的のみに利用され、第三者へ提供されることはありません。
安全管理措置の内容	カメラで撮影された映像は保存期間である 7 日間を経過した後に消去します。 また、データの処理において、不正なアクセスや不正なソフトウェアから保護するための技術的な安全対策を講じています。
データ主体の権利	取得した映像は、会場内の滞留者数やゲート付近の混雑状況を把握し、より良い会場運営を行うことを目的として、正当な利益のもとで利用されます。また、来場者は、適用される法令に基づき、アクセス権や消去権などの権利を行使できる場合があります。
本件に関するお問い合わせ	公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会 https://faq.expo2025.or.jp/hc/ja/p/contact